

平成29年度の各会計予算を審査する予算特別委員会(大原健委員長、本館憲一副委員長・3月15日～17日)での質疑(Q)と答弁(A)のいくつかを要約して紹介します。

質疑

あれこれ

イーハートブ

応援寄附金は

Q 外部委託の範囲、事業本来の趣旨と返礼品の内容は。

A 寄付金の受付や礼状、受領証明の発送、返礼品の発送などを委託する。国では、寄付額に対し高額の商品や商品券など趣旨にそぐわない返礼品について指導している。平成28年度の返礼品は市の特産品など224品目。寄付金の使途については、花巻市を応援したくなるような内容に今後も改善を進めていく。

移住・定住促進策は

Q 移住定住情報交流ガーデンの活用や移住ツアーの取り組みは。

A 総務省が八重洲口に設置している情報交流ガーデンには、当市を紹介する情報誌「花日和」を送付している。東京でのイベントなどに利用可能だが、全国からの予約が多く借りることが出来ない状況である。移住ツアーは東和で実施し、み

そ作り体験に6人の参加があり好評を得た。平成29年度は石鳥谷でのツアーを予定している。

自主防災・避難対策は

Q 自主防災組織支援事業費の主な内容は。また、ハザードマップのPRと住民意識の向上策は。

A 事業費は、(財)自治総合センターの助成事業に採択された1件分である。地域の自主防災組織への支援については、コミュニティ会議に自主防災の対象活動を示しているの活用してほしい。防災の住民意識向上については、今後も防災訓練や出前講座を繰り返し行い、ハザードマップのPRと併せ、理解を深めていきたい。

病後児保育事業は

Q 病後児保育を行う専用施設とはどのようなものか。

A 回復期にある子供の一般的な保育施設での預かりはリスクがあると判断し、市内の貸家を借用

学童保育の基本加算

は

Q 小規模学童の20人区分での基本加算のあり方は。

A 国の基準では基本加算は19人までと20人以上の区分の差が一番大きい。学童クラブは成り立ちがさまざまで、人数や運営



崩落した早池峰山河原の坊コースを調査する関係者

して病後児を専門的に預かる。前日申込から対応が可能で、市の広報やホームページ、保育施設などを通じ事業開始を周知していく。

がん検診のクーポン券発行状況は

Q 子宮頸がん検診、乳がん検診のクーポン券発行状況と精密検査の受診率は。

A 平成28年度は、子宮頸がん検診は20歳が対象で1508名に発行し、受診者が267名、乳がん検診は40歳が対象で1

711名に発行し、受診者が364名となっている。精密検査受診率は平成27年度で子宮頸がん検診は要検査58名中51名の87.9%、乳がん検診は要検査72名中68名の94.4%である。

河原の坊コース

閉鎖の影響は

Q 昨年、早池峰山河原の坊コースが崩落により閉鎖されたが、その影響と今後の見込みは。

A 2月24日に開催された河原の坊登山道調査委員会の初会合で、岩手大学教授から今後も崩落は続く予想されるとの報告があり、定点観測やドローンによる調査を行うっていくこととしている。小田越登山道に登山者が集中していることから登山道の仮設トイレの増設、鎖場等での監視員等による誘導を引き続き行い、新たな登山道についても検討していく。

GPS基地の設置と活用状況は

Q スマートアグリ事業

に関して、GPS基地局の設置と利用農家戸数の成果状況は。

A 平成28年度にGPS基地局を3基設置し、1基で半径5kmカバーしているが、花南地区に対応するため、もう1基の設置を検討している。国の事業で2事業主体が受信装置を導入しており、地上基地に対応していないGPSを含めると10台くらい導入されている。

年金受給者の生活保護の実態は

Q 年金だけで生活ができていない生活保護を受けている実態は。

A 全国的に高齢者の生活保護受給者が多くなってきたおり、年金が生活保護基準に達しないため生活保護を受給している実態もある。

テレワーク活用事業とは

Q テレワークは子育てや介護に携わりながら働きやすくする形態だが、



GPS基地局設置による農作業実演会(田力)

どのような方法で進めていくのか。

A 在宅でできる仕事の情報を提供し、市民の方が自分に適した仕事を見つけて働くもので、昨年11月の説明会には70人ほどの参加があった。

担い手支援事業は

Q 新規就農者が農地を取得する場合の支援は。また、現在の集落営農法人数と平成29年度における法人化の目標は。

A 新規就農者が利用権

有害鳥獣対策事業は

Q 駆除した場合の支払いとわなにに対する補助について。また、後継者不足への対応について伺う。

A シカは一頭8000円、クマは追い払い活動に対し1時間1000円である。わなに對する補

助はないが、平成29年度にイノシシのわなを3基購入予定である。市の実施隊員は110名であり、猟友会と一体となって研修会を行い、知識・技術の習得等掘り起こしをしていきたい。

URとのまちづくり連携協定は

Q 協定の具体的内容について伺う。

A 図書館の移転についてその構想と事業計画の検討をしている。民間を活用して建設できないか、市が建設した場合に入居者として民間が入ってこれないか等、図書館基本構想・コンセプトの範囲で考えていく。

鳥谷ヶ崎公園のライトアップ整備は

Q 鳥谷ヶ崎公園の西御門外ライトアップ整備について伺う。

A 既存の花巻城西御門のライトアップの機器、そのエリア内の街路灯3基を改修し、公園内の散



ライトアップされている花巻城西御門

消防職員の充足率は

Q 市の算定数は222名、現員数は148名で県内12消防本部の中で低い充足率であるが、消防職員の数は十分確保されているのか。

A 実情に合わせて、消防装備品の充実を図りながら、毎日勤務と隔日勤務の職員を適正に配置して対応していきたい。

策を年間を通して夜間も楽しめるように整備する。

図書支援員の配置は

Q 学校図書館に支援員を配置することについて。

A 司書教諭の資格をもつ教員が配置されるのは12学級以上の学校に限られる。司書教諭が配属されていても学級担任や他業務があり、図書館だけを担当できない状況にある。新たな支援員が入ることと教員の力にもなる